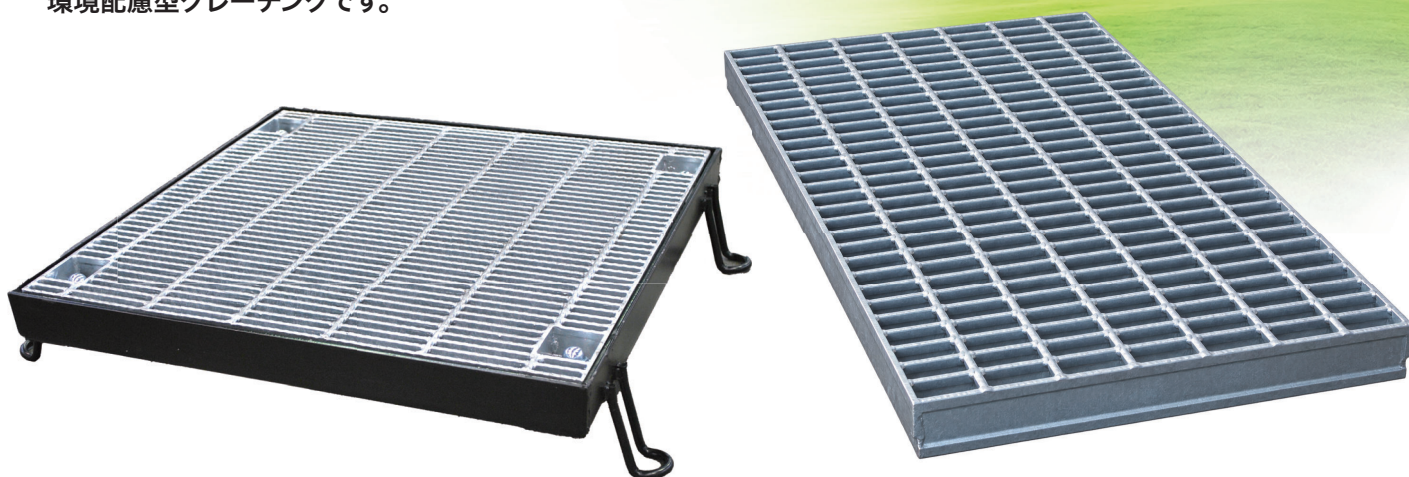


J-クレジット適用・カーボンオフセット仕様

Greenハイテングレーチング

同一設計条件で
重量を平均約**3割削減**
残るCO₂をJ-クレジットでオフセットし
実質ゼロを実現します。

ハイテン鋼の採用による軽量化でCO₂を物理的に削減。
そのうえで、削減しきれない残余CO₂をJ-クレジットでオフセットする、
環境配慮型グレーチングです。



従来品と同価格



従来の鋼製グレーチング
(SS400鋼)と同価格※¹で
ご提供します。

※¹ 同一設計条件・同一仕様における比較

2種類の証明書を発行



- ・CFP算定結果に基づくCO₂削減
量証明書※²
- ・J-クレジットを使用したカーボン
オフセット証明書※³

CO₂排出量を実質ゼロに



削減しきれない残余CO₂を、国が認証
したJ-クレジットでオフセット。

製品1枚あたりの算定対象CO₂排出量
を実質ゼロ※⁴にします。

※² 当社が実施したLCA(Life Cycle Assessment)を基に、PCR「建設及び建設製品」core-PCR v2.0.2に準拠して算定した結果を証明します。

※³ 無効化(償却)したJ-クレジットの情報(クレジットの種類、数量、無効化日、無効化番号等)を証明書に記載します。

※⁴ 算定対象となるCO₂排出量をオフセットしたものであり、CO₂が実際にゼロになることを保証するものではありません。

建設業の未来に、確かなデータと証明で貢献します

建設業を取り巻く環境



公共工事の総合評価で
脱炭素の取り組みが評価対象に



SBT取得企業では購入資材の
CO₂削減も求められる



建築物LCCO₂制度(2028年度予定)
によりCO₂の算定・届出が義務化



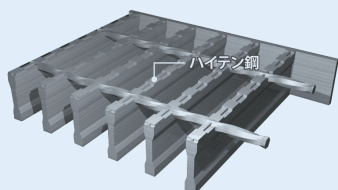
グリーンハイテングレーチングが選ばれる理由

- ✓ 同一設計条件で重量を平均約3割削減
- ✓ 従来鋼製グレーチングと同価格でご提供
- ✓ CFP算定でCO₂削減量を証明
- ✓ 残余CO₂をJ-クレジットでオフセットし、実質ゼロへ

お客様の脱炭素実績作りを強力にサポートします

「実質ゼロ」になる2つのプロセス

STEP1 強度を高めて平均約3割※1軽量化(物理的削減)



グレーチングの主部材に従来鋼(SS400)より強度の高いハイテン鋼を使用。同一設計条件で鋼材の使用量を減らし、CO₂排出量を平均約3割削減します。

比較例

集水桝500×500用 T-25 細目

従来鋼製グレーチング		グリーンハイテングレーチング	
製品重量	48.0kg/枚	製品重量	32.4kg/枚
CO ₂ 排出量	67.2kg-CO ₂ /枚	CO ₂ 排出量	47.0kg-CO ₂ /枚

CFP原単位1.40t-CO₂/t

CFP原単位1.45t-CO₂/t

約30%
CO₂削減

STEP2 J-クレジットでオフセット(実質ゼロの達成)



削減しきれない残余CO₂を、国が
認証したJ-クレジットでオフセット。
製品1枚あたりの算定対象CO₂
排出量を実質ゼロにします。

実質0
カーボン
オフセット

※1 同一設計条件における全規格サイズの平均値です。溝幅または桝穴サイズ、荷重条件、仕様により削減率は変動します。

脱炭素制度への活用範囲

制度・目的	CFP 軽量化 (物理的削減)	J-CREDIT J-クレジット (実質ゼロ)
公共工事の 総合評価・自治体調達	✓ 有効	✓ 有効
企業のスコop 3 (SBT等)	✓ 有効	✗ 原則として 使えない
建築物LCCO ₂ 制度 (2028年度予定)	✓ 有効	✗ 制度上の 対象外
企業のPR サステナビリティ開示	✓ 有効	✓ 有効

よくある質問Q&A

Q 従来鋼製グレーチングと設計や施工方法は変わりますか？

A 変わりません。同一設計条件でそのまま置換え可能です。

Q 強度の根拠は提示できますか？

A はい。強度計算書、鋼材証明書等をご提示可能です。

Q J-クレジットは必ず適用しないといけませんか？

A いいえ。J-クレジットを適用しない場合は通常のハイテングレーチングにてご提案可能です。

従来品比較

	軽量化	J-クレジット	価格
ハイテングレーチング	3割削減	なし	2%割安
グリーン ハイテングレーチング	3割削減	適用 (実質ゼロ)	同じ

※同一設計条件における従来鋼製グレーチング(SS400鋼)との比較



イメージキャラクター
エコトラくん

©SME



株式会社 宝機材

岐阜県瑞穂市別府1723-1

TEL 058-327-2222 / FAX 058-327-2223 メール info@takara-kizai.com

SBT認定取得済